



令和6年7月5日（金）、北三沢地区にて三沢市立おおぞら小学校の5年生19名の学校水田学習が行われました。

場所は5月に他学年と共同で田植えを行った水田で、児童たちは地元の北三沢土地改良区の方の協力の元、鳥除けのためのかかしやリボンテープの設置、自分たちの植えた稲の生育状況の観察を行った後、地区の周辺で採取した水の水質調査を体験しました。



【改良区の人たちとかかしの設置】



【設置したかかし……？】



【リボンテープの設置】





【稲の生育状況の観察】

水質調査では水田の水の他に、隣接する仏沼、小川原湖、海水と比較しながら検査キットを使用し調査しました。

測定したのは水温、TDS（水の中のカルシウム、マグネシウム、カリウム等の無機塩類の濃度）、PH（水の酸性、中性、アルカリ性の数値）、COD（水中の化学的酸素要求量を指し、高いほど有機物が含まれる）で、稲作には綺麗なだけではなく稲の生育に必要な栄養が含まれている必要があることを学び、児童たちは真剣な表情で検査結果をメモしていました。



【水質調査の様子】

関連事業：中山間地域ふるさと活性化事業（通称：ふる水基金、棚田基金）

<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/nourin/noson/hurumizutanada.html>